



小さな力を束ねて大きな力に



9月11日は、奇しくも東日本大震災(3月11日)が起きて半年目の日、そして、アメリカの同時多発爆破テロが起きて10年目の節目、日本からのテレビ放送もアメリカのテレビ放送も悲惨な現実から復興に向けて立ち上がっている人々の姿を報道していました。

その前日9月10日、全校朝礼で、マイアミで見るのが珍しい1本の青いアジサイの切り花をみせながら、1枚1枚の花びらの寄せ集まりであるアジサイは、花びらがまとまると1本の大きな立派

(夏休み新聞大会の様子) な花になることを説明し、心を寄せ合いながら、互いに助け合い、支えあいながらがんばる日本の被災地の人々の姿になぞらえながら、話を進めました。時間が経つにつれ、記憶から薄れていく現実がある中で、一つの節目の日に話しておくことは重要だと思ったからです。幼稚部や低学年の子もきっと何かを感じ取ってくれたのではと思います。生徒会では、貯金箱の義援金活動に引続き、被災地の石巻市の小学校との交流活動の取り組み(寄せ書きの作成)が、本日の生徒会で提案され、各学年での取り組みに引き継がれます。又、本日のPTA主催のバザー&古本市も、今年度は東日本大震災のチャリティーとして開催されます。遠く離れて生活している私たちの小さな取り組みでも、補習校中の人々が智恵を出し合い、長続きする被災地支援の取り組みが、今後必要です。

さて、先週に廊下に掲示された恒例の夏休み新聞大会。この新聞で『友達のよさを再発見しよう』と呼びかけていたこともあって、廊下は、友達の夏休み新聞を熱心に読む子が数多くいました。多くの旅行記に混じって、観光した場所を調べる工夫も目立ち、自由研究の報告も夏休みならではの貴重な成果が見られました。「お父さんのお弁当作りに毎朝挑戦」など夏休みの家庭生活のあたたかさも伝わってくる新聞もあり、どの新聞も見逃せない紙面です。本日の夏休み新聞大会②が最後の見るチャンスです。子どもの体験した喜びとぬくもりが伝わってくる夏休み新聞です。お見逃しなく。



又、中学部では、運動会に向けた練習が早速始まりました。昼食後、(中2応援合戦の模範演技)中2の生徒が、昨年の応援合戦を伝授するため、中1と小6の子どもたちに掛け声と振り付けを指導してくれました。今週の古本市、そして来週以降、24日の府州太鼓の実演会、その後は11月5日の運動会と、子どもたちが楽しみにしている学校行事が満載です。私たちも子どもたちの期待に応える取り組みにしたいと思います。